

平成28年度版『中学社会』 学習指導計画 総括表(案)

■第1学年(105時間)

学期	月	時数	地理的分野	歴史的分野	
一学期 (37)	前期 (51)	4	7	第1編 世界のさまざまな地域 第1章 私たちの地球と世界の地域構成【5】 第2章 人々の生活と環境【8】	第1章 歴史の移り変わりを考えよう【4】 第2章 原始・古代の日本と世界【16】 1 人類の出現と文明のおこり(4) 2 日本の成り立ちと倭の王権(3) 3 大帝国の出現と律令国家の形成(3) 4 貴族社会の発展(4) 学習のまとめと表現(2)
		5	11		
		6	12		
		7	7	予備【4】	
二学期 (42)	後期 (54)	9	11	第3章 世界の諸地域【22/29】 1 アジアの多様性と経済発展(7) 2 アフリカの人々の暮らしとその変化(4) 3 統合を強めるヨーロッパの国々(6) 4 世界に大きな影響力をもつ北アメリカ(5)	第3章 中世の日本と世界【14】 1 世界の動きと武家政治の始まり(5) 2 ゆれ動く武家政治と社会(7) 学習のまとめと表現(2)
		10	12		
		11	12		
		12	7	予備【6】	
三学期 (26)	後期 (54)	1	9	第3章 世界の諸地域【7/29】 5 南アメリカの開発と環境(4) 6 他地域と結びつくオセアニア(3) 第4章 世界のさまざまな地域の調査【5】	第4章 近世の日本と世界【11/18】 1 結びつく世界との出会い(4) 2 天下統一への歩み(3) 3 幕藩体制の確立と鎖国(4)
		2	12		
		3	5	予備【3】	
合計		105	地理 47 / 歴史 45 [予備 13]		

■第2学年(105時間)

学期	月	時数	地理的分野	歴史的分野	
一学期 (37)	前期 (52)	4	7		第4章 近世の日本と世界【7/18】 4 経済の成長と幕政の改革(5) 学習のまとめと表現(2)
		5	11	第2編 日本のさまざまな地域 第1章 日本の地域構成【5】 第2章 世界からみた日本のすがた【11】	第5章 近代の幕開け【11】 1 近代世界の確立とアジア(5) 2 開国と幕府政治の終わり(4) 学習のまとめと表現(2)
		6	12		
		7	7	予備【3】	
二学期 (42)	後期 (53)	9	11	第3章 日本の諸地域【20/35】 1 九州地方～環境問題と環境保全を中心に考えよう(5) 2 中国・四国地方～人口や都市・村落を中心に考えよう(5) 3 近畿地方～歴史的背景を中心に考えよう(5) 4 中部地方～産業を中心に考えよう(5)	
		10	12		
		11	12		
		12	7	予備【5】	

三学期 (26)	後期 (53)	1	9	第3章 日本の諸地域【15/35】 5 関東地方～他地域との結びつきを中心に考えよう (5) 6 東北地方～生活・文化を中心に考えよう (5) 7 北海道地方～自然環境を中心に考えよう (5)	III
		2	12		
		3	5	第4章 身近な地域の調査【8】 [→注①] 予備【3】	
合計		105		地理 59 / 歴史 35 [予備 11]	

■第3学年 (140時間)

学期	月	時数	歴史的分野		
一学期 (49)	前期 (69)	4	9	★身近な地域の歴史を調べる活動【5】 [→注②] 第7章 二度の世界大戦と日本【19】 1 第一次世界大戦と民族独立の動き (5) 2 大正デモクラシー (3) 3 恐慌から戦争へ (5) 4 第二次世界大戦と日本の敗戦 (4) 学習のまとめと表現 (2) 第8章 現代の日本と世界【13】 1 日本の民主化と冷戦 (5) 2 世界の多極化と日本 (3) 3 冷戦の終結とこれからの日本 (3) 学習のまとめと表現 (2)	
		5	15		
		6	16		
	二学期 (58)	前期 (69)	7	9	公民的分野 第1章 私たちの暮らしと現代社会【5/8】 はじめに いまを生きるということ (1) 1 私たちが生きる現代社会 (2) 2 現代につながる伝統と文化 (2) 予備【7】
			9	16	第1章 私たちの暮らしと現代社会【3/8】 3 私たちがつくるこれからの社会 (3) 第2章 人間を尊重する日本国憲法【16】 はじめに なぜ憲法を学ぶのか (1) 1 民主主義を支える日本国憲法 (3) 2 憲法が保障する基本的人権 (10) 3 私たちの平和主義 (2)
		10	16	第3章 私たちの暮らしと民主政治【19】 はじめに 政治とはなんだろう (1) 1 民主主義と日本の政治 (9) 2 司法権の独立と裁判 (5) 3 地方自治と住民の参加 (4)	
		11	16	第4章 私たちの暮らしと経済【11/15】 はじめに 循環する経済 (1) 1 消費生活と市場経済 (5) 2 生産のしくみと企業・金融 (5) 予備【9】	
三学期 (33)	後期 (71)	12	10		
		1	12	第4章 私たちの暮らしと経済【4/15】 3 財政と政府の役割 (4) 第5章 安心して暮らせる社会【9】 はじめに 社会の中で働くということ (1) 1 労働と社会保障 (5) 2 これからの日本経済の課題 (3)	
		2	16	第6章 国際社会に生きる私たち【13】 はじめに 国際社会の「理想と現実」(1) 1 国際社会と国家 (6) 2 国際社会が抱える課題 (6)	
合計		140		歴史 37 / 公民 84 [予備 19]	

◇学習指導計画の作成にあたって

- *「学校教育法施行規則」における社会の標準授業時数は、第1学年:105時間、第2学年:105時間、第3学年:140時間です。また、分野ごとの授業時数は、地理的分野:120時間、歴史的分野:130時間、公民的分野:100時間です。本指導計画では、地域や学校の事情に応じて弾力的に運用できるように、「予備」の時数も含めて作成してありますのでご留意願います。
- *地理的分野は第1～2学年で、歴史的分野は第1～3学年で、公民的分野は第3学年で履修することになります。本指導計画は、学習指導要領に基づき、第1～2学年では地理と歴史を並行して(π型)、第3学年では歴史を先行して学習することを想定して作成してあります。
- *地理と歴史の並行学習については、章や節といった内容のまとまりを重視しながらも、できる限り学期ごとの履修が偏らないように配分した標準案です。地理と歴史の学習順序や切り替える単位に関しては、適宜変更することも可能です。
- *学期や月ごとの時数についても、週あたりの標準時数(第1～2学年:3時間、第3学年:4時間)をもとに配分した案ですので、地域や学校の事情に応じて弾力的に調整願います。
- *「予備」の時数は、地理・公民の「学習のまとめと表現」や各分野の「特設ページ」の学習、評価(テスト)などに充当できるように確保したものです。なお、歴史の「学習のまとめと表現」については、学習指導要領の内容項目として位置づけられていることから、本時と同列に示しています。
- *注①:地理の「身近な地域の調査」については、便宜上第2学年の最後に位置づけていますが、「日本の諸地域」の学習と組み合わせることも可能です。
- *注②:歴史の「身近な地域の歴史を調べる活動」については、便宜上第3学年の最初に位置づけていますが、地域や学校の事情、活動内容等に応じて、適宜時期を組み替えて学習願います。